



新教出版社 出版通信

2012年
1月

〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1 Tel: 03-3260-6148 Fax: 03-3260-6198
ホームページ: <http://www.shinkyō-pb.com>

W・リユティイ著／野崎卓道訳

十戒——教会のための講解説教

12月15日刊行

ここには慰めと励ましに満ちた真の「聖書的な倫理」が力強く展開されている。本書は、「使徒信条」と「主の祈り」と並ぶ「キリスト教の三要件」の一つを、リユティイが、1949年から50年にかけてベルンのミユンスタール教会で、15回にわたる講解説教を通して平易に説き明かしたものである。著者はスイスの名説教者として知られた牧師。その旧約聖書の講解シリーズはわが国でも広く愛読されている。

◆四六判・308頁・定価2100円

▼好評の既刊書——リユティイの本

祝福される人々
山上の説教抄講解

私たちにとって、まことの幸、真の祝福とは何か。山上の説教の「八福」をとりあげ、祝福の深い意味を力強い言葉で説き明かす。
四六判 1680円

ヤコブ
新教セミナーブック

リユティイによる創世記講解説教3部作の最終巻。ヤコブとその兄弟エサウ、息子ヨセフを中心に練り広げられる葛藤と神の摂理の支配。
四六判 2730円

預言者サムエル
サムエル記上講解説教(オンデマンド)

リユティイが初めて歴史書に取り組み、冷戦下の同時代的な問題にも言及しながら歴史の中で働く神の主権を証しする。61〜63年の講解。
四六判 2835円

この日言葉をかの日に伝え
小説教一日一章

バルトやトゥルナイゼンの盟友であり20世紀を代表する名説教者のアドベントから始まる簡潔で美しい小説教。言葉の贈物としても最適。
A5判 6300円

【目次より】

- 第一戒 唯一の救い主
- 第二戒 隠れた導き手
- 第三戒 最高の支配者
- 第四戒 祝日
- 第四戒 安息の年
- 第五戒 家族
- 第五戒 国家
- 第六戒 人間の命
- 第六戒 国際平和
- 第七戒 結婚生活
- 第七戒 不倫
- 第七戒 独身生活
- 第八戒 財産
- 第九戒 人間の尊厳
- 第十戒 人間の心



神学入門

12月20日刊行

プロテスタント神学の転換点

J・L・フロマート 著

佐藤優 監訳・解説

◆四六判変形・200頁・定価1890円



第二次大戦の傷跡がまだまだ色濃く残る48年に、亡命先から帰国し、プラハの神学校で初学者を対象に語った講義。神学の学び方から弁証法神学に対する評価に至るまで、著者の神学観が率直に吐露された興味尽きない内容。フロマートカに私淑する佐藤優氏による力のこもった解説を巻末に収める。

〔目次より〕

- | | | | |
|---|-----------------------------|----|------------------------|
| 1 | 序文 | 7 | 19世紀の弁証法神学の前任者達 |
| 2 | 勉強の仕方 | 8 | まとめ |
| 3 | 方向性 | 9 | 転換点 |
| 4 | 自由主義神学の基本路線（1799年～1914年の期間） | 10 | 危機神学 |
| 5 | 自由主義神学の枠内における内面的矛盾 | 11 | 新しい神学における初期の欠点と継続的な問題点 |
| 6 | 転換の外的前提 | 12 | 1921年以降のバルトの道の概要 |

信仰短言 暁に翼をひろげ 2

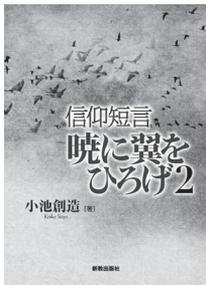
小池創造 著（こいけ・そうぞう氏は日本キリスト教会南浦和教会会牧師）

12月9日刊行

春夏秋冬の移りゆきに細やかな目を注ぎ、社会と時代の変動をしっかりと見据え、福音主義的キリスト教に立つ信仰者の所感を、滋味ゆたかな名文で綴る。

南浦和教会の週報に連載され、全国にたくさんの愛読者をもつた名エッセイの、待望の第2集。2005年1月から今年8月まで300編あまりを収録する。

◆A5判・312頁・定価2000円



アベ・ピエール 著／寺家村和子・博 訳 わが神、なぜですか (仮題)

フランスで最も有名な神父が最晩年に自らの信仰を語った貴重な肉声。著者は、戦時中はレジスタンスに加わり、戦後は困窮した人々を助けるエマウスという団体を立ち上げた。94歳で亡くなるまで終生、国家に対してもバチカンに対しても旺盛な反骨精神を保ち続けた。

◆ B6変・100頁・予価1000円

フェルデインント・ハーン 著／勝田英嗣 訳 新約聖書における伝道 (仮題)

この分野における古典的な文献の待望の邦訳。初代教会における伝道観の多様性を明らかにしつつ、そこを貫く共通の問題、すなわちユダヤ人／異邦人の区別と福音の普遍性の関係如何、および伝道と教会との関係如何という二つの根本問題を浮き彫りにし、これに対する初代教会の様々な解釈と反応を検討する。

◆ A5判・232頁・予価3000円

● 11 月に出た本

信仰と経験

廣石望 著 イエスと「神の王国」の福音



イエスの譬えや奇跡物語を精緻に読み解き、福音書の中核的なシンボリズム(「神の王国」)が秘める豊かな射程を開示する。新しい信仰のあり方を問うた意欲作。

◆ 380頁・定価2835円

旧約聖書と新約聖書

上村 静 著 聖書とは何か 《神学への船出02》



聖書とは何かという基本的疑問に気鋭の聖書学者が徹底的に答える。42個もの「コラム」は、一歩踏み込んだ知識を提供し、聖書の奥深さを面白く伝えてくれる。最強の聖書入門書、出現!

◆ 360頁・定価2100円

幸いなるかな

原口尚彰 著 初期キリスト教のマカリズム



新約文書で重要な役割を担う「幸いの宣言」(マカリズム)。その用法を、ユダヤ教的背景にさかのぼって検証しつつ、初期キリスト教に独自の特質を明らかにした力作。

◆ 200頁・定価4935円

編集部から

●日本語は変化の激しい言葉だとつくづく思います。近松門左衛門の『国性爺合戦』とデフォーの『ロビンソン・クルーソー』の原文を並べて、さて現代の日本人にとってどちらの方が読みやすいかといったら、断然後者でしょう。どちらもほぼ二百年前に書かれた作品なのですが、母語より十八世紀の英語の方が読みやすい……。なぜ日本語はかくも変化が早いのかというテーマはじっくり取り組む価値のある理論的問題ですが、編集者にとっては、その変化をどのように受容すべきかという実践的問題の方が差し迫っています。語彙や文法のみならず、表記や組版の変化も激しいからです。

アラビア数字の扱い方です。この「出版通信」ではご覧のように二桁の数字は半角数字を用いた縦中横（たてちゅうぎょう）（縦組みにおける横組み）、三桁以上は全角数字の縦組みです。新聞・雑誌ではもうおなじみのやり方ですし、広告の価格表記にも違和感がないかもしれませぬ。漢数字は日本語文の中では完全に埋没しますので、数字が大事な文章ではアラビア数字は便利です。しかし、書籍の本文にこれを用いるのはどうなのか。半角縦中横や全角縦組みが入り混じる様は何か安定せず、美しい組版とは言えない、という感じがします。それとも、こうした感覚もあつという間に駆逐されてしまうのか。読者のみなさんはいかがでしょうか。（この小文は漢数字の伝統的表記で通しましたが。）

まもなく出る本から

十戒について「自由！」という言葉が書かれています。何と驚くべきことでしょうか。「自由ー」と書かれています。十戒は比類なき自由の宣言です。神はその戒めの冒頭で、まさにエジプトの国、奴隷の家からの解放者として、私たちに自己紹介なさるのです。しかし、自由とは何でしょうか。人は最終的に自由をすら偶像にしてしまう可能性があるのではないのでしょうか。

（リュティ『十戒』18頁以下）

福音と世界

2012年

1

A5判・80頁・定価600円・送料68円
年間予約購読料（送料共）8016円

特集・キリスト教における「食と農」

「農」の霊性とキリスト教 …… 星野正興
アジア学院から見た「3・11」 …… 大津健一
発展のはじめにある問い …… 池迫直人

▼関東大震災とキリスト教 その3

…… 鈴木範久、五十嵐喜和、山口陽一、戒能信生

【新連載】

◆リレーメッセージ「三・一一以後」 …… 内藤新吾
◆私のごすべるくろにくる …… 沢 知恵

【連載】

- ◆ポストコロニアル視点から読むマタイ福音書 3
- …… ワーレン・カーター／山口里子訳
- ◆ブルトマン・マルクス・バツハから学んだこと 4
- …… 川端純四郎
- ◆松尾村だより 10 …… 末盛千枝子
- ◆交響する啓典の民 24 …… 伊東 乾
- ◆神学の履歴書 40 …… 佐藤 優
- ◆明治キリスト教の周辺 42 …… 太田愛人
- ◆新約釈義 使徒行伝 78 …… 荒井 献
- ◆詩篇の思想と信仰 94 …… 日本昭男